



# アニュアルレポート 2019

2019年12月期

## INNOVATION BEYOND IMAGINATION

創造で、想像を超える。

中外製薬株式会社

# CONTENTS

中外製薬について～メッセージ	02 数字で見る中外製薬(2019年) 04 CEOメッセージ 09 COOメッセージ
中外製薬の価値創造モデル	10 歴史と共有価値 12 価値創造モデル 14 ①提供価値に関する分析 16 ②イノベーションに関する考察 18 ③ビジネスモデルに関する分析 20 参考：製薬業界と中外製薬の事業
指標とパフォーマンス	22 財務・プレ財務ハイライト 26 指標の関係性 28 領域別の概況 30 新製品開発状況
サステナビリティと成長戦略	33 2019年の対話で得た 経営に反映すべき貴重な意見 34 副会長メッセージ 36 戦略の背景となるリスク 37 中外製薬の重要課題(マテリアリティ) 38 マテリアリティの目標と指標 40 これまでの経営計画 41 中期経営計画IBI 21の概要 44 戦略1. Value Creation 45 戦略2. Value Delivery 46 戦略3. 個別化医療の高度化 47 戦略4. 人材の強化と抜本的な構造改革 48 戦略5. Sustainable基盤強化 50 Focus 1：抗体エンジニアリング技術の進化 52 Focus 2：デジタルトランスフォーメーション 54 CFOメッセージ
コーポレート・ガバナンス	58 コーポレート・ガバナンスの強化 69 社外監査役メッセージ 70 取締役／監査役／経営会議メンバー
中外製薬の活動報告	74 2019年の活動一覧 78 研究 80 開発 81 製薬 82 Pick Up 1 83 マーケティング 85 メディカルアフェアーズ 86 医薬安全性 87 信頼性保証 88 知的財産 89 Pick Up 2 90 人材 93 人権 94 環境・安全衛生 97 社会貢献活動・グローバルヘルス
データセクション	99 基本情報 116 連結経営指標等 118 経営成績および財務分析 125 連結財務諸表 129 用語解説 130 ネットワーク 132 株式情報 133 会社概要／編集方針



付録動画：  
「人々の暮らしを救え！  
医療くんの大冒険」  
～みんなが楽しく分かる、  
個別化医療の高度化～

個別化医療とは、一人ひとりの患者さんに最適な医療を提供することで、中外製薬の進める、患者さんや社会との共有価値創造に向けた取り組みの一つです。本冊子の付録として、個別化医療とその高度化についての動画を作成しました。幅広いステークホルダーの方にご理解いただけるストーリーとしていますので、ぜひご視聴ください。

<https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/ar2019/movie.html>

## サステナビリティ情報

冊子とウェブサイト、それぞれの媒体特性を活かして、中外製薬の取り組みを報告しています。ウェブサイトでは冊子の情報に加えて、より詳細な情報を掲載していますので、ぜひご参照ください。

<https://www.chugai-pharm.co.jp/sustainability/>

## 表紙について

「一人ひとりの患者さん」を中心にイノベーションを果たすという、中外製薬の価値創造の姿を表現したもので、「がんではない。ひとりを見つめるのだ。」というコンセプトの企業広告とも連動したものとなっています。

「スペシャルサイト」  
<https://www.chugai-pharm.co.jp/brand/>



# ミッションステートメント

## ■ 存在意義 Mission

革新的な医薬品とサービスの提供を通じて  
新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献します

## ■ 価値観 Core Values

### 1. 患者中心/Patient Centric

患者さん一人ひとりの健康と幸せを最優先に考えます

### 2. フロンティア精神/Pioneering Spirit

自らを磨き、新たな発想で、イノベーションを追求します

### 3. 誠実/Integrity

常に誠実な行動で、社会の期待に応えます

## ■ 目指す姿 Envisioned Future

ロシュとの協働のもと、  
独自のサイエンス力と技術力を核として、  
患者中心の高度で持続可能な医療を実現する、  
ヘルスケア産業のトップイノベーターとなります

中外製薬は、ミッションステートメント(=企業理念)を掲げ、すべての企業活動の根幹としています。この中で、「存在意義」(Mission)は、中外製薬の不変の最重要概念で、関東大震災後の薬不足を憂いた創業者が「世の中の役に立つ薬をつくる」と誓った「創業の精神」を受け継いでいます。「価値観」(Core Values)は、社員が共有し体現していく価値。フロンティア精神を持ち、イノベーションの追求を続けながら、社会の期待や要請に応えるべく常に誠実であること。それによって、一人ひとりの患者さんに貢献していくことを明示しています。「目指す姿」(Envisioned Future)では、今後の医療を取り巻く環境変化を踏まえ、「製薬ビジネス」の枠組みを超えて、ヘルスケア産業の「トップイノベーター」を目指すことを掲げています。こうした「共有価値の創造」を通じたミッションステートメントの実現こそ、中外製薬の価値創造の姿であると考えています。



# 数字で見る中外製薬(2019年)

## 研究



14品目

開発パイプラインにおける自社創製品数  
(2020年1月31日現在)



90本\*1

研究実績に関する論文・学会発表数  
(2019年)



4,976件

特許保有件数(出願中を含む)  
(2019年12月31日現在)



## 開発・製薬



8回

Breakthrough Therapy(画期的治療薬)\*2指定  
(2020年1月31日現在の累計)



49プロジェクト

パイプラインプロジェクト数  
(2020年1月31日現在)



23件

新製品発売・適応拡大数  
(2015-2019年)



革新的医薬品の  
継続提供



次世代個別化医療の  
牽引



患者中心の高度な  
ソリューション提供



独自の  
サイエンス力と技術力

ロシュとのアライアンスに  
立脚した価値創造モデル



ロシュとの  
戦略的アライアンス

### 中外製薬独自の強み

中外製薬は、定量的で比較可能な情報・データのもと、患者さんへの価値や競合優位性の観点で評価分析を行い、独自の価値の源泉として「5つの強み」を特定しています。

5つのうちベースにあるのが、世界的に評価されている創薬技術や深い病態理解による「独自のサイエンス力と技術力」と、世界有数の製薬会社である「ロシュとの戦略的アライアンス」です。これらによって構築した独自のビジネスモデルのもと、「革新的医薬品の継続提供」により各領域でのNo.1プレゼンスを誇るとともに、パイオニアとして「次世代個別化医療」を牽引しています。さらに、高い専門性ときめ細かな情報提供などを背景に、「患者中心の高度なソリューション提供」が高く評価されています。

## 患者さんアクセス



国内 **No. 1**

抗体医薬品国内売上シェア (23.9%)<sup>\*3</sup>  
(2019年)



**69%**

新薬創出加算品目の売上構成比率  
(2019年)



国内 **No. 1**

医療関係者からの満足度評価(がん領域、100床以上)<sup>\*4</sup>、  
安全性情報提供の充実度評価<sup>\*5</sup>(100床以上)  
(2019年)



## 財務面



**6,862**億円 (国内No.5)<sup>\*6</sup>

売上収益  
(2019年)



**30.7%** (国内No.2)<sup>\*6</sup>

営業利益率 (IFRS)  
(2019年)

**6.6**兆円 (国内製薬No.1)<sup>\*6</sup>

時価総額  
(2020年2月末時点)



\*1 創薬・製薬関連の合計

\*2 重篤または致命的な疾患や症状を治療する薬の開発および審査を促進することを目的に、2012年7月に米国食品医薬品局 (FDA) にて導入された制度

\*3 Copyright © 2020 IQVIA. 出典：医薬品市場統計 2019年12月MATをもとに作成 無断転載禁止 市場の範囲は中外製薬定義による

\*4 インタージェヘルスケア「オンコロジー領域CS調査2019」当社定義による医師を対象とした企業総合評価に関する調査結果に基づく

\*5 インタージェヘルスケア「2019安全性情報ニーズ把握のためのアンケート調査」

\*6 医薬品関連企業決算データ：中外製薬：2019年12月期、同業他社：2019年12月期および2019年3月期

注：「医薬品関連企業」とは、医療用医薬品の国内製薬企業、売上上位10社を対象範囲としています

(武田薬品工業、大塚ホールディングス、アステラス製薬、第一三共、中外製薬、エーザイ、大日本住友製薬、田辺三菱製薬、塩野義製薬、協和キリン)